グアム日本人学校から

●2018年5月4日（金）全校遠足

天候が心配されましたが、みんなが楽しみにしていた全校遠足を無事に開催することができました。

例年と同じく、フムヨンマングロ山に登りました。登りは天気に恵まれ、みんな元気に、和気あいあいと良いペースで登ることができました。山頂でおやつ休憩を取りました。晴れていたので、遠くに「ココス島」が見えました。下りになると、急に強く短い雨が降り出して、足元が滑りやすくなったところがありました。すると、上級生の児童生徒らが、真剣に下級生を助ける姿が見られました。荷物を持ってあげたり、しっかりと手を握ってあげたり。。。さすがグアム日本人学校。自然と助け合うことができる児童生徒らに、教員一同感動しました。

下山後はイパオビーチパークへ移動し、お弁当とブルースカイ歓迎式で、全員が楽しい時間を過ごしました。

ブルースカイ歓迎式であった校長先生からのお話の中に、「チームグアム日本人学校」という言葉がありました。これからも、児童生徒、職員一同、そして保護者の方や日本人会の皆様と、同じチームのメンバーとして、結束を強めていこうという気持ちを、全員が共有することができました。

●2018年4月27日(金)進路講話(第1回)

小学部5年生から中学部3年生を対象に、今年度一回目の「進路講話」を開催しました。

講師は「在ハガニャ日本国総領事館」の佐伯鉄朗氏にお願いしました。

日本の警察や海外に数多くある大使館や領事館の仕事についてお話しいただきました。

佐伯さんはこれまで様々な職業を経験した中で、チームワークや人間関係が一番重要だと感じたと子どもたちの前で力説していただきました。そのことは,参加した子どもたちの心の中にも深く刻まれました。

グアム日本人学校は今年度の重点項目の一つに「進学指導」を掲げています。これからも、在学する子どもたちが進路の幅を広げることができるよう、進路講話をはじめ,さまざまな取り組みを実施していきます。

佐伯さんはこれまで2年間、避難訓練やパニックルーム設置などでも子どもたちや教職員等へ多くのアドバイスをしていただきました。現在は日本へ帰国されましたが、益々のご活躍をお祈りしています。

●幼稚部　園外保育 Zoo

幼稚部では、5月16日にTumonにあるZooに園外保育に出かけました。

園内では、クジャクが綺麗な羽を広げて出迎えてくれました。大きな水槽には、亀、サメも泳いでいました。可愛いうさぎや、ヤギに餌をあげることもでき大喜びでした。

グアムに住む動物『カラバオ』『ココバード』『フルーツバット』に興味を持った年長組さん。『フルーツバットの食べ物は何か』と飼育係の方に質問をしていました。吸血蝙蝠の話を知っていた子どもたちでしたが、グアムのコウモリは、マンゴーやバナナのフルーツや花を食べることを聞いて、興味深そうに話を聞いていました。グアムの生き物に親しんだ思い出深い１日となりました。保護者の皆様も参加されて、４月に新入園したお子様の園での様子をご覧になり、安心されたことでしょう。

この経験を、描画活動や油粘土での造形活動などに発展させていこうと考えています。

このページに関するお問い合わせは日本人学校、補習授業校事務局734-8024/25までお気軽にお電話ください。詳細はホームページもぜひご覧ください。http://japaneseschoolguam.com/